

令和元年 「聖書と日本フォーラム」と行く 沖縄本島・宮古島合同セミナー&イスラエル関連痕跡地巡り

“日本人の国民性のルーツは聖書にあった”

7/28 (日)	首里城公園散策・館内見学(守礼の門9:00集合) (館内:大人820円) 昼食自由⇒移動	
14:00開場	沖縄本島セミナー 会場:沖縄県立博物館・美術館「美術館・講座室」 住所:那覇市おもろまち3-1-1	
14:30-15:30	第①部 「日本人の国民性のルーツは聖書にあった」	吉村 忠敏氏
15:40-16:20	第②部 「聖書の終末預言と日本」	畠田 秀生会長 (または吉村 忠敏氏)
16:30-17:45	「沖縄に見るユダヤ文化」	瑞慶山 道弘牧師
	「沖縄の風習と聖書」	新垣 勉氏
	「沖縄のルーツ研究発表」	與儀 喜美江氏
18:00～	質疑応答など(⇒移動)	
18:00～	夕食&交わり:Soup Café スープオン' 那覇市おもろまち4-11-36 ☎098-963-6750	
7/29 (月)	久高島見学(安座間港9:30集合)※希望者は6月末迄に主催者へ連絡ください。 安座間港発10時―久高島発13時 (フェリー往復1,280円/所要時間25分(各自で軽食準備)) 14時頃～南城市玉城(ヤハラヅカサ⇒ミントングスク) ⇒南風原町立南風原文化センター見学(一般300円)	
夕方～	夕食&交わり:joy工房(有料:500円)住所:南城市大里937 ☎:090-6776-3332	
7/30 (火)	※宮古島参加希望者は主催者へ連絡ください。 午後～宮古島市博物館見学(住所:東仲宗根添1166-287 ☎0980-73-0567)	
7/31 (水)	宮古島見学地:張水神社、大主御嶽、霊石、その他	
19:30～	宮古島セミナー 主題「日本・イスラエル・聖書」 会場:宮古パプテスト教会(平良字西里1424-2) ☎:0980-72-8582	レクチャー:吉村 忠敏氏
8/1 (木)	ユダヤ関連痕跡地見学(見学地検討中)、交わりタイム	

主催



聖書と日本フォーラム 沖縄支部
 〒900-0036 那覇市西1-9-13 2F
 ☎yona2453@yahoo.co.jp ☎070-5813-8190

どなたもお気軽にいらしてください。沖縄県立博物館・美術館周辺は混みあいますので早めにいらしてください。



あなたがたは知らないで礼拝しています。ヨハネ4:22

聖書と日本フォーラム

見よ、イスラエルの神の栄光が、東の方から来たが、その来る響きは、大水の響きのようで、地はその栄光で輝いた。エゼキエル43:2

レクチャー：プロフィール



吉村 忠敏 (よしむら ただはる)

1962年生まれ。聖書と日本フォーラム会員。日本人の信仰と聖書について考える会代表。
千葉県で高校の英語教師をしていた30歳の時にクリスチャンとなり、高校教師を続けながら、JTJ宣教神学校で聖書を学ぶ。卒業後、高校の教師を辞して、長野県で6年間、埼玉県で3年間牧師を務める。その後、献金に頼らず伝道、牧会したいとの思いが与えられ、職業としての牧師は辞し、現在は学校法人宮城明泉学園の副園長の傍ら、2016年1月から「日本人の信仰と聖書について考える会」を立ち上げ、日本人の文化、伝統、信仰の中に積極的に聖書の信仰を見出しつつ福音を伝えている。

著書に「日本人の信仰が世界を救う」(さくら新書、デザインエッグ社)、「日本人の幸せ」(さくら新書、デザインエッグ社)がある。日本人の高い国民性は世界から高く評価されることが多い。それはどこから来たものなのか調べて行くと、やはり聖書とイエス・キリストの教えに遡ることができるのではないだろうか。聖書とイエス・キリストの教えは決して外国の宗教の教えではなく、本来日本人の心。キリスト教という宗教としてではなく、本来の日本人の心である聖書とイエス・キリストの言葉を受取る日本人に伝える。そんな思いを持って主に仕えたいと願っている。



瑞慶山 道弘 (ずけやま みちひろ)

1969年、沖縄県宮古島に生まれる。14才の時、イエスを救い主として受け入れ、キリスト者として歩み始める。琉球大学卒業後、高校理科の教師となる。心の教育の必要性を思っ、牧師になることを志す。東京基督神学校、西南学院神学部を経て、牧師となる。現在、宮古バプテスト教会の牧師として、地域に仕える教会を目指して、教会員と共に励んでいる。著書に「沖縄に見るユダヤ文化」、「命どう宝“神との和解と赦し”」(球陽出版)がある。



新垣 勉 (あらかき つとむ)

1948年生。新垣養蜂園事業主。NPO 法人アピセラピー協会副理事長。首里キャスルライオンズクラブ会員、他。教会籍ワールドキリスト教会会員。

與儀 喜美江 (よぎ きみえ)

1963年生。2012年南城市大里でJoy工房&茶屋を開業。著書に「沖縄の風習と聖書」(那覇出版社)企画出版。「おきなわルーツ紀行」(球陽出版)コラム著者。「ていんぬていーだ」(サンエムカラー)がある。



現在奥様の看病のため、沖縄へ足を運ばれるかは直前まで未定です。

畠田 秀生 (はたけだ ひでお)

1940年生。同志社大学西洋史専攻。1963年ニュージーランドへ貨物船で無銭旅行を企てる。そこでキリストを信じて翌年、本田弘慈牧師の本田クルセード、塩屋の関西聖書神学校聴講生を経て1965年、大阪中ノ島公会堂にて開拓伝道を開始。30年後、独立して古代日本と古代イスラエルの関連から現在の日本のキリスト教宣教に新風を吹きこむ活動「聖書と日本フォーラム」を立ち上げ、二代目会長。

著書に「古代ユダヤから21世紀の日本へ」「井の中の蛙大海へ」「翻弄の海からの脱出」「武士道はキリストが起源だった」「アマテラスの死と復活〈NEWサムライバイブル〉日本は聖書の国だった!」がある。日本各地とニュージーランドでセミナー、講演活動中。現在、伊勢志摩登茂山に住む。登茂山家の教会、大阪西区家の教会牧師。



「聖書と日本フォーラム」のホームページURLは
www.biblejapan.infoです。諸先生方のメッセージを聴くことができます。
活動の詳細が載っています。